

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [ 事後評価 ]

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	08	03	01	0401	河川排水路改修事業

事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返	<input type="checkbox"/> 期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---	-------------------------------	-----------------

《事業目的》  
 水害の防止

《事業開始の背景》  
 水害防止、河川水路の環境整備のため改修工事を実施している。現在は各地域からの要望に基づき、それぞれのニーズに応える手法により事業を展開している。

《事業概要》  
**【24年度】**  
 排水路整備  
 7カ所 工事延長L=340m (竈堰排水路、里川口排水路、二枚橋排水路、雀田川排水路、横志田地区排水路、落合北排水路、湯沢野排水路)  
**【25年度】**  
 排水路整備  
 9カ所 工事延長L=298m (竈堰排水路、里川口排水路、二枚橋排水路、雀田川排水路、横志田地区排水路、落合北排水路、湯沢野排水路、宇南川、中沢川)  
 -----  
 市民参画の有無 [ 対象外 ]

《事業展開の留意事項》

《成果指標》

	項目	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
①	河川排水路改修率 (H21~H27 : 全2,691m)	%	目標	74	86	
			実績	72	85	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			

分野	担当部(機関)	担当課(機関)	担当係長	(内線)
暮らし	建設部	道路課	阿部 信也	574

		25年度	当初(現計)	補正	25年度	26年度
財源内訳	事業費	102,509				
	国県支出金					
	地方債					
	その他					
		102,509				

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること

**【24年度】**  
 ・排水路整備事業 7箇所  
 (竈堰排水路、里川口排水路、二枚橋排水路、雀田川排水路、横志田地区排水路、落合北排水路、湯沢野排水路)  
 工事延長 L=340m  
 事業費 103,200千円

**【25年度】**  
 ・排水路整備事業 9箇所  
 (竈堰排水路、里川口排水路、二枚橋排水路、雀田川排水路、横志田地区排水路、湯沢野排水路、中沢川、宇南川、北向地区排水路)  
 工事延長 L=298m  
 事業費 102,509千円

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [ 事後評価 ]

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	08	03	01	0401	河川排水路改修事業

総合計画	政策	都市内分権構築で市民参画・協働のまちづくり	施策	5-3	防災体制・減災対策の拡充
目的	水害の防止				
対象	河川・排水路沿線の住民(市民)、整備が必要な河川、排水路				
意図	河川・排水路が氾濫しないように整備する。 河川・排水路の健全な環境を整備する。				

《事業概要》…上記目的を実現するための事業手法を記載すること

【24年度】  
排水路整備  
7カ所 工事延長L=340m (竈堰排水路、里川口排水路、二枚橋排水路、雀田川排水路、横志田地区排水路、落合北排水路、湯沢野排水路)

【25年度】  
排水路整備  
9カ所 工事延長L=298m (竈堰排水路、里川口排水路、二枚橋排水路、雀田川排水路、横志田地区排水路、落合北排水路、湯沢野排水路、宇南川、中沢川)

市民参画の有無 [ 対象外 ]

市民協働の形態  共催  実行委員会・協議会  事業協力・協定  
 後援・協賛  補助・助成  委託

活動指標 (上記「事業概要」に対応)	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
① 当該年度の河川排水路改修工事発注件数	件	計画	2	4	
		実績	2	4	
②		計画			
		実績			
③		計画			
		実績			
成果指標 (上記「意図」に対応)	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
① 河川排水路改修率 (H21~H27:全2,691m)	%	目標	74	86	
		実績	72	85	
②		目標			
		実績			
③		目標			
		実績			

要因分析

達成度  目標値より高い  概ね目標値どおり  目標値より低い

・発注時期等が適正であり、概ね目標値どおり達成できた。

《環境変化、意見・要望》…環境変化はないか？ 意見や要望が寄せられていないか？

・地域住民や区長から整備の要望が寄せられている。

目的妥当性	<b>公共関与の妥当性</b> <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	・公共施設である排水路、小河川整備なので妥当である。
有効性	<b>成果の向上余地</b> <input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	・以前より有効的な土地利用、最適工法選定、コスト削減策の検討に取り組み、工事費の削減を図り整備延長の延伸に努めている。 ・そのため、予算内での更なる有効性の向上は困難である。 ・今後も地域の整備要望に応えるため現在の取り組みを維持し、事業を継続する必要がある。
効率性	<b>事業費・人件費の削減余地</b> <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> どちらも削減余地がない	・改修箇所ごとに最適な工法、仮設の比較検討、コスト削減の検討に努めている。 ・積算、施工管理に係る事務経費の適正な遂行に必要な、最低限の事務を行っている。
公平性	<b>受益と負担の適正化余地</b> <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適正である	・公共物である排水路、小河川の自然災害を未然に防ぎ、良好な住環境の創出に係る事業であり、受益者負担は公平、公正である。

《総合評価》…上記評価結果の総括

・改修箇所ごとに適正な工法検討、コスト削減の検討を図り、工事費の削減に努めている。  
 ・その成果から、できるだけ整備延長の延伸を図り、事業推進に努めている。